

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	悪性リンパ腫	(R-)GCD
投与予定	休薬を含めて1クール 21 日	4 クール施行

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)			
							1	8		
1	生食 ※パロノセトロン (※day8はデキサメタゾン 6.6mgへ変更)	100ml 0.75mg	/		点滴静注	30分	↓	↓		
2	生食 ゲムシタビン	100ml 1000 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	30分	↓	↓		
3	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓		
★プライミングフラッシュ生食必要★										
4	生食 カルボプラチン	250ml AUC=5	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	60分	↓			
5	(リツキシマブ施行時) 生食 + <input type="checkbox"/> メチルプレドニゾン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg	/		静注	/		↓		
6	<input type="checkbox"/> 施行有 <input type="checkbox"/> 施行無 生食★ リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	医師の指示通り		↓		
				ml						
7	生食	50ml	/		点滴静注	5分		↓		

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
2	ゲムシタビン	内 200mg 0mg 訳 1000mg 0mg	
4	カルボプラチン	内 150mg 0mg 訳 450mg 0mg	
6	リツキシマブ	内 100mg 0mg 訳 500mg 0mg	1~4mg/mlに希釈調製し使用する。 初回:50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降:下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
(リツキシマブ施行時) イブuproフェン	100mg	リツキシマブ30分前	day8
(リツキシマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ30分前	day8
デキサメタゾン	40mg	分1朝食後又は 分2朝食後	day1~4

*本レジメンにおける体表面積は藤本の式で計算。又、GFRに関してはCalvert式のGFRをJelliffeの式から計算。
リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。別途ステロイドを使用している場合はリツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。
ゲムシタビンの希釈液、ルートフラッシュは5%ブドウ糖に変更の場合あり。

備考	
----	--